

区議 5 期 20 年

区民に寄り添い 願い実現へ全力

みなさんに支えていただき5期20年。私は「暮らしに苦しむ人々にこそ政治の光を」を信条に活動してきました。区政でも国政でも暴走政治が横行しているとき、私は、ひとりひとりの声大切にされる区政を目指し、全力を尽くす決意です。引き続き、区政で働かせてくださいますよう、心からお願い申し上げます。

日本共産党

杉並区議会議員・党区議団長

くすやま美紀

樟山 みき



くらしの困難にどうぞ 手を差しのべなければ

くらしの困難、苦労にこそ手を差しのべなければ——この20年
そうした思いで活動してきました。西荻窪診療所の受付事務をし
ていたときに、支払いの心配をしながら受診する患者さんに接し
てきたからです。

国保料の値上げ徹底追及

そんな思いから取り組んできたのが、国民健康
保険料の問題です。

年金は下がっているのに、保険料は毎年値上げ。
そのうえ区は、国保会計への繰入金を6年間で廃
止し大幅値上げを計画しています。自民、公明な
どは値上げに平気で賛成するなかで、私は値上げ
計画を徹底して追及してきました。

昨年の予算議会では私の追及に、区側は「6年
後、繰入金の廃止はむずかしい」と答弁せざるを
えませんでした。これを足がかりに値上げをスト
ップさせるために頑張る決意です。

子育て世帯の軽減条例案をつくり提案

私は、議員の条例提案権を行使し、子どもの多
い世帯の均等割（一人年5万1千円）を免除する
条例案をつくり提案を行いました。継続審査とな
った後、自民、公明、立憲民主、社民などの反対
で成立しませんでした。区民から「よく提案し
てくれた」と激励されました。



1人当たり保険料は1.3倍に！

就学援助入学準備金

入学前支給と増額が実現

就学援助の入学準備金の支給が、入学後の7月で遅くて困るという声を受け、入学前に支給するよう粘り強く要求。中学生は今年4月から、小学生は来年4月から入学前支給が実現しました。また、金額についても増額されることになりました。

子ども食堂への支援拡充

子どもに無料又は低額で食事を提供する子ども食堂が杉並でも広がっています。私は、区内の運営事業者からの要望を受け、支援の拡充を求めました。区は、「運営団体の要望も勘案し、対応する」と答えました。

認知症グループホーム 家賃助成を提案

収入が少なくグループホームを利用できないという話を聞き、区内でも家賃助成をしている自治体があることを調べ、本会議で提案。関係者からよい提案だと喜ばれました。なんととしても実現させるため、引き続き頑張ります。



保険証がなく 困っていたときに

国保料が払えず保険証がない時にケガが重症化し、途方に暮れていた時にくすやまさんに相談。すぐに病院に駆けつけてくれ、区にも交渉して保険証を発行してもらうことができました。本当に感謝しています。
(南荻窪 50代女性 Kさん)

優しく頼もしい くすやまさん

私は病気で仕事ができず、生活保護を受けています。6年ほど前に荻窪に越してきましたが、頼れる人もなく心細い思いをしていたときに助けてくれたのがくすやまさんでした。福祉事務所の対応など、ちょっとした不安にもすぐ答えてくれる優しく頼もしい議員さんです。

(荻窪 50代女性 Cさん)



くらし破壊の消費税10%増税にストップを

いつも区民のみなさんとともに 切実な願い実現に全力

私が20年間、議員として大切にしてきたこと——それはどんな問題でも、要求実現に向けて区民のみなさんとともに取り組むことでした。

質問13回

あんさんぶる荻窪廃止問題を徹底追及

この4年間で、区政の大問題の一つが、区民の宝の施設「あんさんぶる荻窪」を、税務署との交換で廃止する計画でした。

自民、公明、民主（その後立憲等へ）、社民、ネットなどは廃止賛成という態度をとりましたが、私は、区民のみなさんと連携し、財務局まで調査に行き、区議会でも徹底追及。区長が、税務署が入れる施設を荻窪駅前に用意する、という独断で進めた約束が果たせなくなり、そのしりぬぐいで、区民の宝「あんさんぶる荻窪」を差し出したことを明らかにしました。質問回数は13回に及びます。



荻窪・すずらん通りに掲げられた区民の声

何度も追及のくすやまさんに感謝

住民と区が協働してつくったあんさんぶる荻窪。田中区長は住民の声を無視して廃止してしまいましたが、くすやまさんは、地域のみなさんの声を届け、何度も区長を追及してくれました。くすやまさんの奮闘に感謝しています。

(南荻窪会会長 大林秀雄)

みなさんと力合わせ

特養整備・安全なまちづくりへ

特養整備やまちの安全対策など、区民のみならずと運動し、実現及び、実現の見通しがつきました。その一部を紹介します。

- 荻窪3丁目UR団地に特養ホーム整備
- 荻窪駅南側補助131号線の一方通行を継続
- すずらん通りに郵便ポスト設置
- 神明中統廃合計画を撤回へ
- 天沼都営住宅の建て替え促進
- 西荻窪駅北側横断歩道にエスコートゾーン整備へ
- 宮前2丁目などカーブミラー、私道整備
- 荻窪駅南口喫煙所に煙防護柵整備へ
- 荻窪駅のエレベーター設置などバリアフリー化推進

防災対策

積極提案で実現

防災対策でも、予防対策を強化するために積極的に提案してきました。

2012年第2回定例会で提案した火災防止の感震ブレーカー設置助成、倒壊危険のあるブロック塀改修助成は、それぞれ実現しました。

また、水害のたびに現地に行って住民の声を聞き、区議会を取り上げ、東京都に申し入れを行いました。その結果、雨水貯留施設が善福寺川緑地の地下に整備され、荻窪2・4丁目付近の地下にも整備が進められています。

2011年原発事故

避難者に、 おにぎり・どら焼き届ける



福島原発事故で避難した福島からの避難者に、都は食事の提供をしませんでした。私は福島出身者として居ても立ってもいられず、吉田都議（当時）と、避難先の味の素スタジアムに、おにぎりどら焼き150個を届け、大変喜ばれました。



UR団地に整備された特養ホーム

くすやま美紀の歩み

会津生まれ

私が生まれ育ったのは、福島県の会津・塩川町（現在は喜多方市）です。家はよろず屋（雑貨店）で、5人きょうだいの末っ子（兄3人、姉1人）。幼い頃の夢は世界各国を旅することでした。

会津若松市内の高校へは、塩川駅まで自転車で15分（冬は徒歩で50分）、さらに会津若松駅から徒歩で30分。そんな環境だけに、根気強さが培われたと思います。

19歳で日本共産党に出会う

高校卒業後上京し観光専門学校に入学。19歳の時、兄の影響もあって日本共産党を知りました。侵略戦争に命がけで反対してたたかったことに感銘を受け、私もその一員に加わりました。

被爆者との交流、地域医療に学ぶ そして区議会議員に

社会に役立つ仕事がしたいと思い、被爆者団体・東友会の事務局長、その後西荻窪診療所で患者さんの対応にあたりました。

医療や介護、そして生活の現場でのさまざまな困難に直面し、問題のおもとにある政治をただし、変えなければと、要請を受け区議に立候補することを決意しました。

区議は大変な仕事ですが、区民と力あわせれば区政を動かすことができる——それがこの20年の確信です。日本共産党員として、議員として誇りを感じます。



西荻窪診療所で働いていた頃



20歳の頃



小学3年生

9条改憲ノーの声をあげましょう



母の遺した言葉

「二度と戦争してはいけない」

歴史の逆行を絶対に許してならない、日本共産党員として頑張らなければという思いがわきます。

もがいました。母は、「兄の死はつらかったけれど、残された4歳の息子が不憫だった。あんな戦争はこりごり、二度と戦争をしてはいけない」と語っていました。妻と4歳の子どもを残して戦場で命を落とした叔父の無念さを思うと、9条改憲、

私の母は、終戦の年に兄を戦争で亡くしました。叔父は28歳、4歳の子ど

インタビュー

Qどんな本を読んでいますか？

A最近では原田マハの「暗幕のゲルニカ」「太陽の棘」など

Q得意料理は？

Aこづゆ



ホタテの貝柱で出汁をとる、会津の郷土料理です

Q気分転換は？

A本屋、文房具、雑貨屋めぐり

Q印象に残った映画は？

A「イル・ポストイーノ」

Qカラオケでよく歌う曲、または歌手は？

A中島みゆき



私がつくったマトリョーシカ

「ならぬことはならぬ」

くすやまさんの故郷会津には「ならぬことはならぬ」という教えがあるように、くすやまさんは、心が強く正義感あふれる人です。被爆者団体や診療所の窓口で困難をかかえた人に真摯に対応した経験にも裏付けられています。区議会になくてもならない人です。(宮前在住 小山郁子)



くすやま美紀 プロフィール

1963年福島県生まれ。東京観光専門学校卒業後、東友会（被爆者団体）事務局、西荻窪診療所等に勤務。1999年杉並区議会議員初当選。現在5期。区議会保健福祉委員長、区民生活委員長、党区議団幹事長等歴任。党区議団長。趣味は、音楽・映画・絵画鑑賞。

みなさんの声を、これからも区政へ くすやま美紀のお約束

- 児童館、ゆうゆう館の廃止許さず拡充を
- 区立施設使用料の引き下げ
- 特養ホームの増設、グループホームへの家賃助成を
- 認可保育園の増設、保育の質確保へ、区立保育園の存続
- 障害種別のグループホームの増設、移動支援の拡充、就労支援
- 学校給食の無償化、就学援助の拡充
- 学校体育館へのエアコン設置、トイレの洋式化促進
- 商店街支援とともに個店支援、公契約条例の制定
- 100ミリ豪雨に対応できる水害対策、耐震、耐火改修への支援拡充

区長の暴言にもビシッ

くすやまさんは日本共産党杉並区議団の団長です。じつは私は、都議退任後、区議団のお手伝いをしてきましたが、くすやまさんの奮闘ぶりは大変なものです。一番印象的だったことは、区長が、日本共産党の若手区議への答弁で、「ウソつき」と暴言を吐いた直後の質問に立ったくすやまさんが、その場で区長発言こそ事実と反していると「ビシッ」と批判したことです。議場はシーン。さすが団長。区議団にも区政にも絶対に必要な人です。（前都議会議員 吉田信夫）

お困りごとはお気軽にご相談ください。 ☎080-5531-8236

くすやま美紀

